



今月は「ブータン王国」のためにお祈りください

ブータン王国は、南アジア、インドと中国の間にある友邦国。仏教(ドゥク・カギユ派)を国教とする国家である。民族はチベット系8割、ネパール系2割。公用語はゾンカ語。首都はティンブー。国旗はかなり複雑なものひとつで、竜のうろこが細かく描かれてある。

ブータンの経済・政治・宗教について

ブータンの生活水準は低く、遅い経済成長が失業率を押し上げている。地形的な理由によりインフラの整備は不十分である。観光客の入国も厳しく制限されている。国民の役 23%が貧困に苦しんでいるものの、ブータンは世界で最も幸福な国の一つとして有名である。

ブータンは独裁的だが温和な仏教のリーダーシップと従順な議会によって治められている。少しずつ民主的になりつつある。ブータンの主な外交国はインドである。ブータン国は自らの主権を断固守っている。

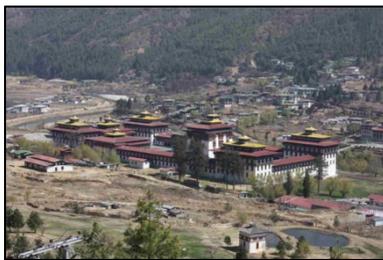
国教はアニミズムを起源とする仏教だ。国は他の宗教を邪魔になるものとみなしており、仏教以外の宗教に改宗することやそれを勧めることは法によって禁じられている。キリスト教会堂を立てることは認められていない。キリスト教徒は仏教徒には認められている多くの権利(たとえば無償教育)から除外されている。

ブータンのその他の情報

面積:47,000 km² (日本の約 12.4%) 人口:708,484(日本の約 0.5% 2010年時点)



ブータンの人々



政府のある首都ティンブー



ブータン国王と王妃

宗教:	
仏教	74.56%
ヒンズー	22.43%
キリスト教	2.11%
イスラム教	0.50%
土着宗教	0.40%

マタイ5:14 「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れることができません。」

祈禱課題

ブータンの救いのために

ブータンは世界で最も福音が行き届いていない国の一つである。国教の仏教は国民に深く根付いており、アニミズムや悪霊的な力の影響が大きい。ブータンが霊的に自由にされるようにお祈りください。また、国王の祝福と救いのためにお祈りください。

ブータン国内のチベット人とネパール人のために

国民の80%はチベット系である。彼らの多くは熱心な仏教徒たちだ。クリスチャンの数は非常に少ないうえに、散らばっている。この民族に属する少数のクリスチャンたちが交わりを強め、主イエスをあかし出来るように。

ブータンの仏教徒たちは国民を「純粋」とするために特に 1990年にネパール系の人たちを苦しめ、暴力によって彼らのことばや文化を減少させた。実に 150,000人が被害を受けたとされている。彼らのうち多くはネパール南西部にある国際連合のキャンプに避難してきている。避難中にキリストを見いだしたクリスチャンたちの交わりが出来ておりその数は増えつつある。苦しんでいる人々にイエスの愛とあわれみが現されるようにお祈りください。

迫害を受けているキリスト教徒のために

ブータンではクリスチャンには自由がなく、様々な迫害を受けている。教会堂が建てられないので、集会は家で持たれている。クリスチャンになると無償教育、国民保健、または仕事をもつことができない。また電気や水道の制限も受ける。これに加えて暴力的な迫害を受けることもある。弾圧の中にあるクリスチャンたちの信仰が守られ、福音宣教が前進するようにお祈りください。